

平成22年度 塩釜港湾・空港整備事務所の業務概要

平成22年度の主な業務

[仙台塩釜港]

●複合一貫輸送ターミナル等の利便性向上と地域経済活性化への支援を図り、埠頭利用の再編による貨物の集約化、船舶の大型化に対応するため複合一貫輸送ターミナル改良（耐震）事業として、**中野地区岸壁(-9.0m)、航路・泊地**の改良整備を継続実施します。

[塩釜港区]

●施設の機能回復、船舶の安全航行等を目的とした**外港地区航路(-7.5m)**整備を継続実施します。

[石巻港]

●雲雀野地区の港内静穏度向上のため、**防波堤(南)**の整備を継続実施します。

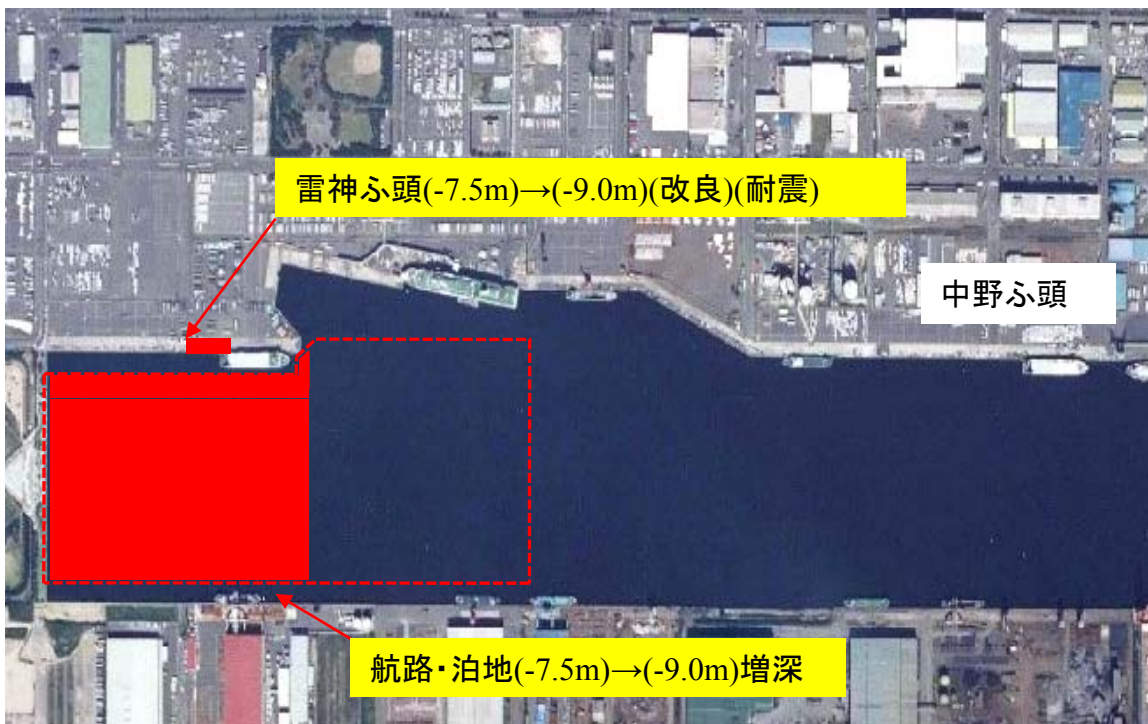
[仙台空港]

●宮城県沖地震及び長町利府断層帯地震への対応として、**滑走路等の耐震化整備**を継続実施します。

～複合一貫輸送ターミナルの利便性向上と 地域経済活性化への支援～

●中野地区複合一貫輸送ターミナル改良（耐震）事業

近年仙台港における貨物取扱量の増大と、船舶の大型化が進む中、雷神ふ頭岸壁（-7.5m）では水深不足から中野地区岸壁（-10m）ではバラ貨物と完成自動車が輻輳し混在しています。また、背後地の用地不足も相まって窮屈な利用状況が強いられており、ふ頭利用の再編による貨物の集約化、船舶の大型化に対応するため、複合一貫輸送ターミナル改良（耐震）事業として、雷神ふ頭岸壁(-9.0m)（改良）（耐震）、航路・泊地(-9.0m)整備を行います。



水深不足のため、中野3号岸壁を利用している

自動車運搬船が雷神ふ頭利用可能に



船名：清和丸
総トン数：15,781GT
全長：167m
全幅：30.2m
吃水：7.5m
船種：CGC
積載能力：自動車 846台 トレーラ 150台



船名：蓉翔丸
総トン数：14,790GT
全長：167m
全幅：30.2m
吃水：7.5m
船種：CGC
積載能力：自動車 681台 トレーラ 150台

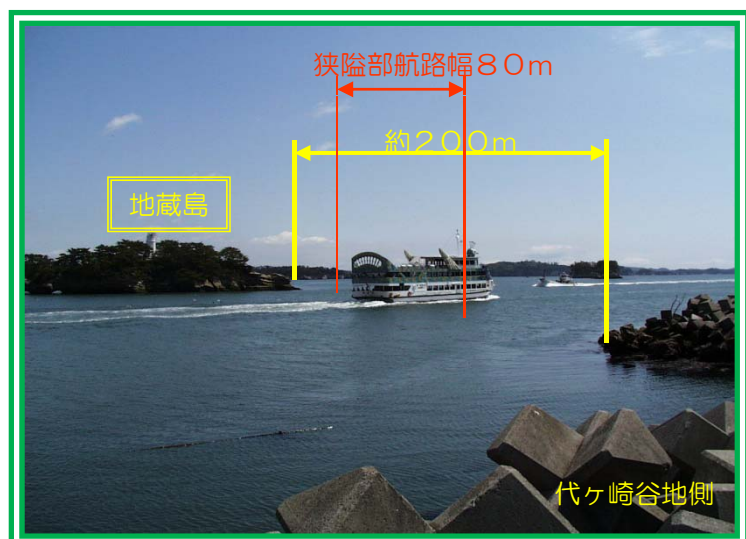
仙台塩釜港（塩釜港区）の概要

仙台塩釜港

～老朽化した港湾施設の機能の回復・船舶の安全性確保～

塩釜港区への航路(計画水深-9m)は、現状では水深6.2mの箇所もある状態である。

利用者（保安部・港湾利用者・港湾管理者・塩釜市）からは施設の機能維持と共に船舶の安全航行のための航路浚渫の要望が強いことから、外航地区航路(-7.5m)の浚渫を実施します。



石巻港の概要

～安全で効率的な荷役を行うための港内静穏度の確保～



●雲雀野地区において、港内静穏度確保のための防波堤(南)の整備を促進します。

(石巻港の課題) 長周期波による雲雀野地区の静穏度不足

●防波堤の整備が不十分だと

長周期波による荷役障害の発生が懸念されます。



●防波堤を延伸する事により

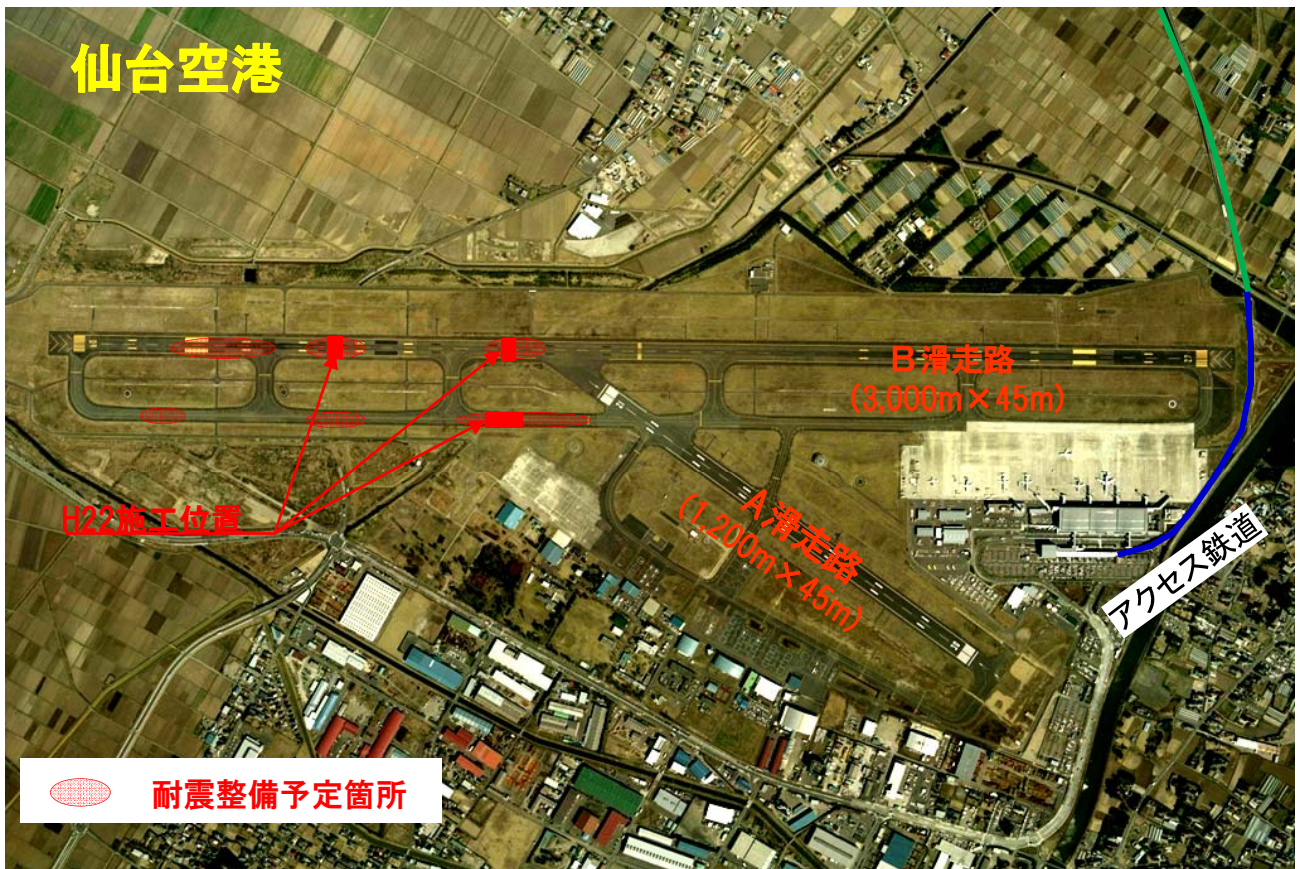
港内静穏度が確保され、安全で確実な荷役が可能



仙台空港の概要

●仙台空港耐震化整備事業

高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震、長町利府断層帯地震への対応として、災害復旧支援や航空ネットワークの維持及び背後圏経済活動の継続性確保など様々な役割を果たすため仙台空港の基本施設（滑走路、誘導路等）の耐震化を推進します。



耐震化工事施工状況(地盤改良工)



定期便就航路線図(H22.4現在)

